

本庄南ロータリークラブ



会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明

第704回例会 11月4日(火) 発行 平成20年11月11日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
 ソング / 奉仕の理想
 / 四つのテスト斉唱
 ゲスト / RI第2570地区 第4グループ
 2008~2009年度 ガバナー補佐 春山 良夫 様
 米山奨学生 早稲田大学大学院国際情報通信研究科
 博士課程 金 相賢 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



ガバナー (Governor)

皆さん、今晚は、
 春山ガバナー補佐におかれまして
 は、お忙しいなか、当クラブにご訪
 問頂きありがとうございます。

後程、ご挨拶、宜しく願います。

昨日まで、本庄市内に於いては、11月2日、3日
 に本庄まつりが、また児玉地区に於いては、3日に
 こだま秋まつりが行われました。本庄の秋祭りは、
 江戸時代に遡り、金鑽神社(本庄)、八幡神社(児
 玉)の祭礼の付祭として各町内が山車、同幕、人
 形などをして、今日に至っているということ
 です。現在の山車の殆どは、明治時代に創建され
 ています。文化財に指定されています。本庄まつり
 では、今年は10基の山車が勢ぞろいしました。
 子供達は、一月程前からほぼ毎日、お囃子の練習
 をしてお祭りに臨みます。山車を曳く者、太鼓を
 叩く者、笛を吹く者、鐘を打つ者・・・毎年、繰
 り返されてきた絢爛華やかな祭りが今年も賑やか
 に行なわれました。

さて、本日のロータリー情報は、ガバナーです。
 ロータリージャパンから引用させていただきます。
 英語の辞書で "Governor" を引くと、監督者、管理者、
 公共機関などの管理委員、理事、といった語義が
 並びます。興味深いのは、英国の俗語ではおやじ、
 父親という意味合いがあることです。ロータリア
 ンは、年度ごとに、新しいガバナーに出会います。

遠い存在に感じられる方、身近な存在に感じられ
 る方、人によりさまざまでしょう。

ガバナーに就任するまで

ガバナーとは、所管地区のクラブによって指名(ノ
 ミネート)され、国際ロータリー(RI)の国際
 大会にて選挙(エレクト)される、RIの管理役
 員です。ガバナーとなる人が、地区で、指名され
 たときの名称は「ガバナーノミニー」です。ガバ
 ナーノミニーは、就任する前々年度の国際大会で
 選挙され、「ガバナーエレクト」となります。

そして、国際協議会(1998年の規定審議会での
 決定により、1998-99年度からは、2月15日より前
 に開催されることになりました)で研修を経た後、
 自分が国際協議会に参加した年の7月1日に、ガバ
 ナーとして就任します。その時から1年(または後
 任者が選挙され、資格が確定するまで)、ガバナー
 の任にとどまります。任期を修了すると、「パスト
 ガバナー」と呼ばれるようになります。

ガバナーの仕事

『手続要覧2004年』(P25~26・P219~220)
 から要約し列挙すると、「新クラブ結成」「既存
 クラブの強化助成」「クラブ会長などと協力し、
 地区内クラブのために現実的な会員増強目標を設
 定して、会員増強を推進すること」「プログラム
 への参加と資金寄付を通して、ロータリー財団を
 支援すること」「クラブとクラブ、クラブとRI
 の間に、良好な関係を促進すること」「地区大会
 を計画・主宰すること」「PETS(会長エレクト
 研修セミナー)と地区協議会の計画・準備に当

たるガバナーエレクトに協力すること」「なるべく早く、地区内全クラブを公式訪問すること」「クラブ会長・幹事にガバナー月信 (Governor's Monthly Letter) を発行すること」「会長またはR I 理事会の要請があれば、速やかにR I に報告を提出すること」「ガバナーエレクトに対し、国際協議会の前に、地区内クラブ状況について、詳細な情報を提供し、併せてクラブ強化策の勧告案を提供すること」「地区内でR I の決まりが確実に実施されるよう計らうこと」「地区で保存すべき文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと」「地区内におけるR I 役員としての職責に属するその他の任務を遂行すること」などとなります。

ガバナーになるための資格

ガバナーになるためには、1つまたはいくつかのクラブで通算7年以上会員であり、クラブ会長を全期務めた経験が必要とされるなど、その資格には細かい条件があります。ほかにも、例えば職業分類の正当性が疑問の余地なきものであること、その任務に耐え得る能力があるということ、また健康であるということも、重要です。

さらに細かい条件が掲載されていますから、『手続要覧 2004年』(P 25)ならびにR I 細則 15条 (同P 218-219)をご覧ください。また、資格条件を満たしても、国際協議会で研修を受けないと、せっかく受けた指名が承認されず、ガバナーにはなれません。

そして、『手続要覧 2004年』P 24の「資格」の最初に「所属クラブの尊敬の的であり、かつ信頼されていなければならない」とあり、と同時に、「本人の事業または専門職務についてその経営力が示されている、職業上名ある人物でなければならない」(同P 25)とされていることは、ロータリーらしさを示す条件とも言えましょう。

参考・引用 『手続要覧 2004年』「国際ロータリー理事会決定事項の抄録」等、『ロータリーの友』2004年8月号掲載

幹事報告

星野栄一 幹事



次回例会は、ガバナー公式訪問例会です。

11月13日は、熊谷西RCとのゴルフ大会です。

18日の例会は、座禅例会で、会場が安養院となります。お間違えのないようにお願いします。

委員会報告

会員組織常任委員長 山田勝治 会員



11月3日文化の日に本庄市民文化会館において、本庄書道人連盟会長浦野征房氏主催の第38回本庄書道展に92点の力作と第32回本庄学生書道展46点の力作が展覧され、文化の日にふさわしい行事と感心した次第であります。

文字もワープロ、パソコンに任せる時代となってきましたが、やはり手で書いた文字は人の温もり、感情を表し、伝えるものであり特に筆文字については、書展を見て、作者の気持ちを強く伝えるものと感じたところであります。

そして学生書道展の出品数は少子化現象からか、年々減っていましたが、今年は前年を16点上回る事が出来ました。これは書道塾に通う子供が増えて、書く事に興味が高まった事と、主催者と多くの協賛団体(26団体)も喜んだところであります。

本庄南ロータリークラブ賞を授けてまいりました。



米山奨学会 戸谷全克 会員

春山ガバナー補佐、本日は、ご訪問ありがとうございます。

米山奨学会の戸谷です。本日は、よろしく、お願いします。



R 第257地区会員

会員増強 維持強化部門

浅田 進 部門委員長

会員増強・維持強化部門から、11月6日までの回答日で、報告をお願いしてあります。

回答の前に会長、会員組織常任委員長を中心に全員で意見交換し、意識統一した見解を反映して欲しい。





R第2570地区 第4グループ
ガバナー補佐 春山良夫 様

皆様、今晚は。2008~2009年度第4グループガバナー補佐として、皆様にお世話になります。児玉ロータリークラブの春山と申します。よろしくお願い致します。

本日は、創立16年の伝統と歴史あふれる本庄南ロータリークラブを訪問する機会を得ましたこと、大変光栄に存じます。

過日7月1日、本庄南ロータリークラブの矢部年度初例会に補佐挨拶として出席させて頂き大変有り難うございました。

本日は、ガバナー補佐訪問ですので、非常に緊張しておりますが、例会前の懇談会で矢部会長・星野幹事さんまた会員の皆様方に温かく迎えていただきまして安堵しております。

本庄南ロータリークラブは、第2570地区創立52番目で平成6年にチャーターメンバー30名で発足し、その後、分区代理として戸矢全克様、ガバナー補佐として浅田進様現在、地区会員増強・維持強化部門委員長として活躍しておられる方々のクラブでございます。

そのようなクラブでの補佐としての卓話というところでございますが、会員皆さんが大変ロータリーに精通しておられる方ですので、間違ふことがございましたら、ロータリーの友情に免じて、お許し下さることをお願い申し上げます。

本日の、ガバナー補佐訪問でございますが、まず、ガバナー補佐とは、つまり、RI理事会の方針に従い、地区ガバナーにより任命され、担当する地域内で指定されたクラブの、クラブ運営に関する管理業務に関してガバナーを補佐する、ことでございます。

次に、ガバナー補佐の役割と重要な責務の詳細についてお話ししたいと思います。

第1に、ロータリー年度の開始前に次期クラブ会長と会合を持ち、クラブの目標について討議し、特に、会長要覧の『効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標』について検討すること。

第2に、グループ内のクラブを支援し、会長・幹事との信頼関係を築くこと。

第3に、各クラブの要望をガバナーへ、又、ガバナー・各部門長の方針を各クラブにスムーズに伝達すること。

第4に、各クラブを定期的に訪問すること。望ましくは1ヶ月に1度、最低でもロータリー年度の各四半期に1度は訪問して、クラブの運営、利用可能なリソース、効果的な資金管理について、クラブ会長およびその指導者たちと話し合い、クラブの業務およびクラブが利用できる資料や援助源について話し合うこと。

第5に、随時、クラブについてガバナーに現状報告を行い、クラブの発展の方法について提案すること。

第6に、ガバナーの公式訪問の日程と計画の作成づくりをすること。

第7に、ガバナー公式訪問に際して開かれる各クラブ協議会に出席すること。

第8に、クラブの会員増強目標、奉仕プロジェクト目標、ロータリー財団目標、クラブの管理運営目標、広報目標に向けた進捗状況を随時確認すること。

第9に、クラブが直面する問題の実用的な解決方法を提案すること。

以上9項目が補佐の責務でございますので皆様方にはご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

さて、本日のガバナー補佐訪問の目的は、3つございます。

第1に、クラブ運営関係の書類点検をすること。

第2に、クラブ運営上の問題点を会長・幹事と懇談し、クラブ支援をすること。

その1、クラブ目標へ向けての進捗状況を評価する。

その2、目標達成のためのクラブの方策の効果を検討する。

その3、クラブが直面する問題の解決方法を提案する。

第3に、ガバナー公式訪問の事前準備をすること。の3点でございます。

第1の目的のクラブ書類点検は、例会前に、先程、別室の方で諸帳簿等を閲覧させていただきましたが、19項目の関係書類が整理・整頓されておりまして、しかも年度毎にファイリングしてあるため非常に閲覧しやすく、大変良く管理されておりますので、書類点検は短時間でスムーズに終わりました。大変良くできておりました。

第2の目的の会長・幹事との話し合いでは、クラブ概要についてお伺いし、又、クラブ活性化の一つとしてCLPの問題、あるいは今年度の活動方針・実施計画等についてお話し合い致しました。特に、ロータリー財団、地区補助金プログラム申請をお願いいたしました。会長・幹事との話し合いで感じましたことは、大変誠実で、お人柄も良く、非常に積極的にクラブ運営に取り組んでおられる方だと思っております。

第3の目的のガバナー公式訪問の事前準備では、例会前のガバナーとの懇談会、通常例会時のガバナーの卓話時間、さらにクラブ協議会での進行方法等について打ち合わせさせて頂きました。

ところで、『ガバナー公式訪問』には、二面性があるかと思っております。と云いますのは、ガバナーにとりまして、年度に入ったならば、必ず地区内の各クラブを出来るだけ早く、一度は訪問しなければならない事になっております。クラブとしましてもクラブの活動計画を立案して、適切な助言を受けなければならない事になっておりますので、ガバナーにとりましても、クラブにとりましても、最も重要な年間プログラムの一つであるかと思っております。

次週は真下ガバナーの公式訪問でございますが、真下ガバナーは、大変気さくな方で、しかも知識が豊富なガバナーでおられますので、公式訪問時のクラブ協議会の際にはガバナーと親しく懇談して頂き

まして、特に、クラブの活性化について絶好な機会でございますので忌憚のない意見交換をしていたきたいと思います。11月1日の方式訪問の前に少し、R I 会長、地区ガバナーについての今年度のテーマ、並びに方針の卓話をさせていただきます。

まず最初に、李 東建 (リ・ドン・カン) R I 会長についてご紹介を致します。ソウルにある製造会社ブバン株式会社ならびにブバン・テクロン株式会社の会長を務めております。ロータリー歴は、197年にソウル八漢江ロータリークラブに入会し、2001-03年度 R I 理事、02-03年度 R I 財務長、2003-07年度ロータリー財団管理委員、2007-08年度 R I 会長エレクトを務めた方でございます。

1995-96年度には、地区ガバナーとして32の新たなクラブを結成しまして、1800人近くの新入会員を入会させた実績により、第8回国際大会では、会員増強活動におけるその最高の功績を称えられる『カルガリー・チャレンジ』の受賞者として表彰されました経歴の持ち主でございます。さて、ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるといふロータリアンの固い意志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で周囲を見まわして、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いをめぐらせております。そこで、奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くしたいと思っております。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008-09年度私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源であります『子供たち』に光を当てていただきたいと思うのであります。

毎日、避けられるはずの原因で命を落す5歳未満の子供の数が3万人を超え、世界では毎日のように、肺炎、はしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たち、また基本的な資源であるきれいな水が手に入らないで死んでいく人々も一日に何千人とおります。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。子供の死亡のほとんどは発展途上国で、最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、毎日、子供たちが死んでいる状況でございます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。そこで、ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると、私は信じておりますので、今後1年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区奉仕プロジェクトの主要目的にしていたくことでございます。

又、R I 会長は、前年度より強調事項を引き継いで3つの項目を掲げまして、第1に『保健と飢餓追放』第2に『水』第3に『識字率向上』を主眼とするプロジェクトで、これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に活かして、目に見える進歩が期待できるから分野だからでございます。

私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を特別に当てるよう努力していただきたいのです。水系感染の疾病で死亡する子供には安全な水があれば減らすことができ、栄養が十分にあれば、子供達は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まると思っております。

この思いから、私は2008-09年度のR Iのテーマを『夢をかたちに』としました。このような子供たちとその家族のために、どうか『夢をかたちに』して下さるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動して頂きたいとのことでございます。

次に真下ガバナーの紹介を致します。氏名は真下和男(ました かずお)です。生年月日は1933年(昭和8年)3月22日生まれの75歳で、1955年(昭和30年)明治大学商学部卒業 公認会計士試験第二次試験に合格しております。職歴としましては昭和38年1月真下和男公認会計士事務所開設並びに真下和男税理士事務所開設、さらに昭和44年12月株式会社埼玉電算研究所代表取締役役に就任致しました。ロータリー歴と致しましては、1964年東松山ロータリークラブ入会、1985~86年度東松山ロータリークラブ会長、2002~03年度地区監査、2004~05年度地区第1グループガバナー補佐、2006~07年度地区国際奉仕部門委員長に携わった方でございます。

真下ガバナーは、国際協議会の研修をふまえて、東洋的思考と現代的マネジメントの手法を取り入れた8つの方針を掲げました。真下ガバナーは地区テーマを『行動と感動』(Act and Inspire)とし、ガバナーの方針を『ロータリーの良き慣習を尊重し、悪しき慣習を見直そう』と提唱されました。

ロータリーの現状打破に必要な議論の立場をとるものであります。そして強く求められるものは『行動』であります。その行動はロータリアンと家族、さらに一般社会に『感動』を与え、ロータリーのイメージアップと活性化をもたらすものである。という積極的な方針を提示致しました。次に、8項目の方針について述べてみたいと思っております。

1 ロータリーの原点について

ロータリーの基本を学び、自らの職業奉仕のサービスレベルを高める。最近問題になっている倫理観のUPに力を注ぎ、品格のある職業奉仕を目指します。

2 クラブの見直しについて

魅力あるクラブ創りのためにクラブの棚卸しを実施し、率直な意見を交換して各クラブの基盤の整備と活性化を目指します。特に小クラブの強化と女性会員の増加に努めます。小クラブからも地区委員の選出や、会長未経験者の地区委員選出や優秀な人材は途中からでも地区委員に選出します。

3 ロータリアンの研鑽とアイデア]

ロータリアン自身が研鑽に努め、アイデアを活かした楽しいクラブの例会を目指します。

4 C.L.Pについて

クラブリーダーシッププラン(CLP)は「クラブ活性化プラン」。CLPをクラブ活性化の観点から、小規模クラブだけでなく、中・大規模クラブにも大いに役立つものと思われます。採用は各クラブの自主性によりますが、地区は新しい取り組みを積極的に支援します。

5 積極的な活動と予算について

CLPは社会奉仕をはじめ、委員会活動を重視する方策ですから、その面に積極的な予算配分をします。委員会に伴う各自の負担を原則的にやめます。地区は予算外の支出を考慮しません。そのためセミナー予算をとりましたので、工夫に努めて節約してください。積極的な活動と予算の兼ね合いをはかります。特別会計委員会の答申を受けて地区会計規則等の整備が完了し7月1日より施行となっております。

6 継続事業について

継続事業については、必要性を吟味しできるだけ継続します。

具体的には第2570地区独自の活動である『ロータリーの森』『日豪青年交換』『さきたま古墳群を世界遺産に』『高校生感動体験プログラム』等であります。

7 改善の取組みについて

問題点の改善等に積極的に取り組みます。具体的には下記の採用を考えます。

ガバナー補佐、部門委員長は担当する分野・部門等の問題点・取組みについて改善案をガバナーに提案し、ガバナーは答申をするものとする。また、ガバナーから諮問し、答申を求めることができます。

8 数値目標について

1. 各クラブ会員増強目標

純増1名以上

2. ロータリー財団への寄付目標

クラブレベルで1人あたり

前期：20ドル 後期：20ドル

1人100ドル以上

(個人レベルの善意の寄付)

3. 米山記念奨学会への寄付目標

1人17000円以上

4. ポリオ・プラスのチャレンジ拠金

1人30ドル以上

5. 各クラブ、各部門は棚卸しを実施し、最低改善点を1つ以上とりあげて任期中に実現して下さい。地区はこれに対し積極的に協力します。

以上、真下ガバナーの方針あるいは数値目標でございますが、ご理解ご協力の程お願い致します。

最後になりますが、ロータリーに14年間在籍しておりますが、『ロータリーとは』の問いに対しまして、まだまだ回答できるほど熟知はしておりません。

ロータリー会員は異業種の人々の集まりでございます。会員の集団では何が出来るだろうか。まず、第一には、友人あるいは仲間を得ること。

第二には、それぞれ異なった職業を知ることが出来て、その知り得た職業の中から自分の職業に通じるもの、あるいは、心に残る知識が得られ、いつかその知識が、自分自身に

役立ったりすれば、こんなに有り難いロータリーはないかと思えます。

毎週行われる、三分間スピーチあるいは卓話を通じて、少しであります自分自身が前進の道を辿っていくものと思えます。

第三には、ロータリーは何をしてきたか、何をしようとしているか、何をしなければならぬかを考える時、一人一人の力は小さいですが、ロータリー全体としての力は我々の想像を越えた強力なものであると思えます。それが、世界平和、世界の青少年のため、さらに貧困にあえぐ発展途上国の国々に社会貢献、国際貢献として力強い協力をしておると思えます。

私自身、ロータリーに入会していなければ、すばらしい友人あるいは仲間もありませんでした。私はロータリーには、『人材の宝庫でもあり、知識の宝庫でもある』としてとらえ、ロータリーの奉仕活動は愛であり、行動であり、感動であると思えます。

最後に、各会員にお願いしたいのは、『ロータリークラブで 私は何をすればよいか』をもう一度考えて頂きたいと思えます。

今後ともロータリーをご理解・ご支援賜りますようお願い申し上げます。ガバナー補佐の卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。



出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	14名	5名	3名	86.36%

例会予定

- 11月 11日 ガバナー訪問
- 11月 18日 座禅例会 安養院
- 11月 25日 卓話
世界遺産キャラバン隊 行田RC来訪
- 12月 11日 年次総会

ニコニコボックス

春山ガバナー補佐

本日、ガバナー補佐訪問で参りました。
よろしく、お願いします。

矢部会長

春山ガバナー補佐、本日は、訪問ありがとうございます。

星野幹事

春山ガバナー補佐、本日は、ありがとうございます。

戸谷会員

春山ガバナー補佐様には、ご苦勞様です。
今晚は、よろしく、ご指導お願いします。

浅田会員

春山ガバナー補佐、ご指導よろしく。

高橋会員

春山ガバナー補佐、訪問、ご苦勞様です。
今後も宜しくお願いします。

松島会員

ガバナー補佐、本日は、ありがとうございます。

根岸会員

第4グループ、ガバナー補佐、春山良夫様、本日は、よろしくお願いします。

山田会員

春山補佐、お世話になります。